

だごぼはん
り

発行:真宗大谷派 常入寺
富山市東老田 787 番地
電話(076)436-0816
FAX(076)436-2766
携帯090-3764-3983
発行責任: 青井和成

A happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear
War is over, if you want it
War is over now

「仏説無量寿經」
ヨシ・レイン

本軍も晴望
同様に
くお願
たします



〒930-0161 富山市東老田 787
真宗大谷派 常入寺
青井和成 智恵子 朋生 真生 瑞生 唯生

祈りから誓いへ

新年を迎え初詣に出かける人は多いと思う。日本の常識としてあるものなのだろう。そして神仏の前でいろいろな祈りをし、てゆく、商売繁盛、家内安全、自分の健康…。神仏にいろいろなお願いをする。祈りがかなえられない、かなえられないと

我々の性分なんだろう。だからやめろといってもそんな簡単にやめられるものではないだろう。

でも、自分の幸を他人任せにすることはどうのようなものだろうか。祈りかなわなかったら神仏のせいなのだろうか。初詣の

いうことを抜きにして私たちは思わずお願い事をする。

ときだけ、そして都合のよいときだけ祈りに来て願い叶えとは虫のよすぎることなのではなからうか。私はそう思う。

私は最近神仏にお願い事をすると、もう一つしなければいけないことがあるような気がする。それは「誓う」事だ。願うとして誓うことが大事な気がしてならない。願うこと誓うことは言い換えれば夢ということだろう。こうしたいという目標、夢。ただ、目標を立て、夢を見ているだけでは目標に近づいてはいけない、夢は叶わない。叶うためにそこに近づいていくにはどうしたらいいのか考え、そして実行すること。それが大事。そうでなかったら描いた餅でしかない。

神仏の前で祈り、そしてその祈りのために自分はどうするかということと誓うことそして、生活上でその誓いを実践していくことこそ大事なのではなからうか。

最近私は世の中の「安穩」なることを願う。願わずにはおれない。ニュースに写されてくる日本の現状、そして地球の有様。目をふさぎたくなる。しかし目をふさいだまま、社会の現状に

目を背けたまま神仏に世の中の安穩、平和を願ってもしかたのないこと。自分の願いと現状をしっかりと観察して、そのために自分はどうしなければいけないか、何ができるのか考えないといけない。安穩と叫ぶだけでなく、この世の中の安穩をイメージしなければいけない。この世の中にとって平和とはどういう事なのか、本当の平和とはどういう事なのか。自分が出来る平和への歩みは何だろう。歩み、ぶつかり、またイメージして歩んでゆく。この繰り返しが大切なような気がしてならない。私たちに、否、私に今までかけていたことなのではなからうか。

A happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear
War is over, if you want it
War is over now

ハッピー・ニュー・イヤ
いい年であればいいね
何も心配がなければいいね
戦争は終わる、
もしそう望むのなら

なかなか言いにくいことなのでここで書きます。

つながりを大切にしたい
だから

月参りの時忙しくなかったら、

お茶を飲みながら何か話しませんか？

お天気の話しからしかできませんが…

今年の御文 五帳目第二通

それ○八万の法蔵をしるといふとも●後世をし
らざる人を愚者とす●たとひ一文不知の尼入
道なりといふとも●後世をしるを智者とすと
いえり●しかれば当流のこころは●あながちに
もろもろの聖教をよみ●ものをしりたりとい
うとも●一念の信心のいわれをしらざる人は●
いたずら事なりとしるべし●されば聖人の御
ことばにも●一切の男女たらん身は●弥陀の本
願を信ぜずしては●ふつとたすかるといふ事
あるべからずとおおせられたり●このゆえに●
いかなる女人なりといふとも●もろもろの雑
行をすてて●一念に弥陀如来今度の後生たす
けたまえと●ふかくたのみ申さん人は●十人も
百人もみなともに●弥陀の報土に往生すべき
事●さらさらうたがひあるべからざるものな
り●あなかしこあなかしこ